

《共通基礎科目 教養教育科目》

科目名	多文化共生概論				
担当者氏名	大森 彰				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択必修	開講年次・開講期	1年・秋期

《授業の概要》

多文化共生とは何か、日本における多文化共生の現状と問題点を学び、異文化を認め理解する国際理解教育の研究を深めていく。在日外国人の理解を深め、外国人児童生徒・外国にルーツを持つ児童生徒等への教育的支援について考察し、教育の在り方・生き方について考える。多文化社会におけるコミュニケーションのあり方を追求する。

《授業の到達目標》

・異なる文化、生活習慣および価値観を理解し、豊かに共生する多文化共生社会の実現についての認識を持ち価値を共有する。

・異文化理解の方法として、課題を見つけ、調べる、考えるを もとにプレゼンテーションを中心に参加体験型学習で進める。ディスカッション、ワークショップ・ディベート等に積極的に参加することでコミュニケーション能力を身に付ける。

《成績評価の方法》

平常点（受講態度等）30%、提出物20%、定期試験50%

《テキスト》

テキスト---必要に応じて資料を配布する。

《参考図書》

参考書は適宜紹介する。必要に応じて資料を配布する。

《授業時間外学習》

- ・インターネットなどから授業のテーマに関わる情報を収集し、課題点などを考察しておく。
- ・授業後には、疑問点やさらに知りたい点などについて図書館等を用いて発展的に調べる。
- ・自分の身の周りの人権問題について考える。

《備考》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	オリエンテーション	授業の概要、学習予定、授業の進め方
2	多文化共生とは	多文化共生の視点について（在日を生きる、国内の人権問題、グローバル化）
3	差別と偏見	異文化理解の方法と展開（ステレオタイプ、差別、偏見について考える）
4	多文化共生とコミュニケーション	言語コミュニケーションと非言語コミュニケーション（ワークショップ）
5	日本の中のマイノリティ	女性、在日コリアン、被差別部落、障害者
6	大阪の多文化共生教育	大阪の人権教育について（被差別の視点から）
7	在日外国人教育	大阪の在日外国人教育の現状（在日韓国、朝鮮人教育について）
8	在日外国人教育	コリアンタウン見学（予定）
9	日本における多文化共生教育	ニューカマーへの教育的支援と地域の連携
10	日本における多文化共生教育	渡日児童の教育を進めてきた教員の話聞き取る
11	帰国児童（学生）に学ぶ	地域で在日外国人を支援する人の想いを聞き取る（ニューカマーの教育問題を中心に）
12	学生のプレゼンテーション	国際化とグローバル化
13	学生のプレゼンテーション	地球的視野から国際理解を考える（環境問題、平和問題）
14	全体協議	多文化共生に向けて、自分がどのように行動をすればよいか自己の課題に気づく。
15	まとめ	日本における多文化共生の課題と展望